

形式：オンラインセミナー（Live 配信）	補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）
ジャンル：知財	講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 7 2 9 z 1

日本の特許審査における拒絶理由通知への対処方法について、手続きの流れから具体的な対抗策までを解説。審査基準等の客観的資料に加え、審査官とのコミュニケーション、覆すコツなど、講師の実体験に基づきながら分かりやすく説明します。

日本の特許審査における拒絶理由通知への対応

～拒絶査定までの流れ、拒絶理由通知の種類、対処方法（覆すコツ、具体例）～

講師：Rita 特許事務所 所長、弁理士 野中 剛氏

松下通信工業（現パナソニック）において営業・商品企画を担当。退職後、平成 14 年弁理士登録。特許事務所に勤務し、国内外の特許・意匠・商標の実務を担当。平成 22 年に現事務所を開設。
【専門分野】電気、機械、制御関連の特許出願業務、商標出願業務。英語、中国語、韓国語、ドイツ語にも対応。

- 日 程 2025 年 7 月 29 日（火）14：00～17：00
 - 受講料 1 名 **24,200 円**（税込／テキスト）
- ※アーカイブのみでのご受講も可能です

- ### I. 手続きの流れ

 1. 特許出願から特許査定／拒絶査定までの流れ
 2. 出願件数、審査請求件数、特許査定件数
 3. 出願する価値、審査請求する価値、特許になる価値
 4. 拒絶理由通知を受けてから、応答完了までの流れ
 5. 特許明細書の構成
 6. 発明の発掘
 7. 先行技術文献調査の重要性
- ### II. 特許事務所・企業・審査官の立場の違い

 1. 特許事務所の立場
 2. 企業の立場
 3. 審査官の立場
 4. 日本の審査は厳しすぎるか？
- ### III. 拒絶理由通知の種類と具体例

 1. 最初の拒絶理由通知と、最後の拒絶理由通知
 2. 発明の内容を明確にすれば解消する拒絶理由
記載不備（36 条）、発明の成立性（29 条 1 項柱書）
 3. 他の特許文献などとの差別化が認められないと
解消しない拒絶理由
新規性（29 条 1 項）、進歩性（29 条 2 項）、
拡大先願（29 条の 2）、先願（39 条）
 4. その他の拒絶理由 単一性（37 条）
- ### IV. 拒絶理由への対抗策

 1. 拒絶理由に応答すべきか、応答する価値、
応答して成功する価値
 2. 補正書、意見書の書き方、具体例
 3. 審査官へのお土産
 4. 特許査定になった例、拒絶査定になった例
 5. 分割、変更
 6. 取り下げ、放棄
 7. 共同出願の場合の注意点
 8. どうしても諦められない場合、納得がいかない場合
- ### V. その他

 1. 外国での審査結果は意見書などの反論材料に使える？
 2. 審査官との面接は有効か？
 3. 米国への IDS 報告義務の注意点
 4. 拒絶理由通知を受ける前にやっておくべきこと
 5. 拒絶理由通知を受けた後にやるべきこと
 6. 特許権侵害の可能性検討
 7. コミュニケーションの重要（文書のやりとりだけじゃダメ！）
 8. 情報共有（審査官情報、拒絶理由応答体験）
 9. 法律改正情報
 10. 関連情報紹介

- <習得知識>
- ・拒絶理由の対処方法
 - ・拒絶理由を覆すコツ
 - ・拒絶理由を覆せた例、覆せなかった例

<講義概要>

特許審査における拒絶理由通知は、原則 60 日以内に対応する必要がありますが、この期間は意外と長くありません。やり方を誤ると、期限内に対応出来ないこともありますし、何度も拒絶理由通知を受けて想定外の費用がかかってしまうこともありますし、思ったような権利範囲で特許を取得出来ないこともあります。

本講座では、審査基準などの客観的資料と経験談などの個人的見解（内緒の話）とに基づいて、日本の特許審査における拒絶理由通知への対処方法を初心者にも分かりやすく説明します。特に、「出願に係る発明と引用文献とを比較して、拒絶理由に対する反論方法を受講者皆様にも考えていただいた後に、解説（審査/審判結果の説明）を行う」という形で、講師の実体験をお伝えしたいと思います。このため、日本の特許出願における拒絶理由通知の対応に直面している方、これから直面する方におすすめの講座です。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/7/29 日本の特許審査における拒絶理由通知への対応		
会社名※			
所在地※ （請求書等の送付先）	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）		
支払方法※	☐ 銀行振込（紙請求書） ☐ 銀行振込（PDF 請求書） ☐ カード支払い ☐ 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	☐ [] 月 [] 日ごろを予定している ☐ 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】②【会社名】③【所在地】④【氏名】⑤【所属】⑥【Email】⑦【TEL】⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

- ① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください
- ② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

- ① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）
- ② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主 催 申込・問合せ先	名 称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住 所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		